

「働きやすさ」と「やりがい」を高める 職場づくりが人を創る

2020年3月より始まった新型コロナウイルスの感染拡大もようやく一旦落ち着き、社会経済活動の再開へと向かい始めた中で、また新たな変異株が発見されるなど、第六波への事前対応に予断が許さない状況です。ウィズコロナ・アフターコロナ・ポストコロナと人によって表現の仕方は異なりますが、コロナ前の状態に戻った未来を想像している人はいないでしょう。残念ながら繰り返す自然災害も含めて、予期せぬ危機に直面することはこれからも避けられないものと考え、それでも前を向いて進んでいけるように、未来に向けての組織の在り方や働き方を積極的に考え直し、意志と勇気をもって創り上げていく必要があるものと思っています。その際には、改めて原点に立ち返り、理想を掲げ、その実現に向けて全員で知恵を絞り、外部の仲間や協力者とも協働していくという姿勢が大事なのだと考えます。そしてそれら

の取り組みを推進するのが人材であることは言うまでもありません。国の政策としても介護職・看護職の皆さまの処遇改善は図られてまいります、人手不足・人材不足が決して簡単に解消するものではないことは、疑いようのないことでもあります。様々な困難に打ち勝つことのできる強靱な組織とは、【働きがいに溢れ、知恵と勇気がみなぎっている人たちが生き生きと働いている明るい職場】なのだと思います。「働きがい」とは、「働きやすさ」と「やりがい」の二つの要素の双方が高まってこそ実現するものであり、職員の皆さんの日々の業務負担の軽減は「働きやすさの改善」として目に見えて実感できますし、一人ひとりの職員の方々ご自身がやりたいと思うことをやれるような環境においては「やりがい感」が高まっていくことでしょう。私たちは排せつケア改善への取り組みを通して、これからの介護・看護の現

場における働きがいの向上に貢献してまいりたいと考え、TENA製品とTENAアドバイザーサービスをご提供してまいりました。「理想を掲げ・日々の業務を改善し・必要なことを基礎から学び・成果と成長を共に喜び合う」、そのような明るく・強靱で危機に強い現場作りのお手伝いをさせていただければ幸いに存じます。今回のリーエンダ with TENA Vol.8では、今まで以上にご利用者様の快適性と職員の皆様の働きがいの向上につなげていくためのTENA製品の改良点を中心にご紹介しております。「良い製品・良い人・良い仕組み」の3つの機能を同時に高めることを実現するTENAの排せつケアを、明るい未来創りに是非ご活用ください。

ユニ・チャーム メンリック株式会社
代表取締役社長 森田 徹
(2021年12月)

ご利用者の希望を叶える自立支援の重要性

新型コロナウイルス感染予防として、人との接触を避けるため外出自粛をする人が増えました。感染拡大から間もなく2年が経ち、在宅生活が長くなることによる体力やコミュニケーションの機会が減少により心身機能が衰える「フレイル」の進行が問題となっています。神戸市が75歳以上の高齢者対象に行った調査によると、コロナ禍の外出自粛で運動機能の低下やうつ傾向の割合が増加していることが分かりました。一方で、コロナ禍でも「月1回以上趣味やボランティアに参加した人」の群が、そうでない人の群に比べてフレイルの割合が低い結果となりました。少しの外出や軽い運動のほか、社会参加を通じたコミュニケーションもフレイル予防に大切な取組です。

また、2021年4月に行われた介護報酬改定では、利用者の自立支援や尊厳保持の取組みが求められ、歩行・排せつ・食事などの動作について状態が維持・改善した場合に評価するアウトカム加算等が多数新設されました。

自立支援に向けた取組みでは「自分でトイレに行きたい」に留まらず、「温泉旅行に行きたいから、トイレに行けるようになりたい」など、ご利用者の目標を実現するためのアプローチが非常に重要です。湧き起こる「動きたい」という気持ちに応えるため、排せつケア製品も、動きやすさに配慮した製品特性が求められるようになっていきます。

(シルバー産業新聞編集)

TENAの想い



TENAはケアをうける方、ケアをする方、そしてご家族のみなさま、お一人おひとりを大切に、よりその方らしい笑顔ある暮らしを共に育む存在でありたいと考えています。

「個別ケア」と「自立支援」はTENAが大事にしているケアの考え方です。

また、「心身ともに健康で毎日充実した生活を楽しめるように」という、“Well-being (ウェルビーイング)”の想いを実現していくためのひとつの「形」としてTENA製品は存在します。

私たちはこのような思いが込められたTENA製品をお届けすることはもちろんのこと、「その方にとって」を大切に、お一人おひとりと丁寧に向き合わせていただき、皆さまと共に考え続けていきたいと思えます。

TENAはお一人おひとりのウェルビーイングを実現し続けるため、

そして未来を描いていくため、“スキンヘルス=心地よい肌”という領域へ拡張します。

TENA ProSkin シリーズ

やさしさで包み込み、守るために強くあり、そしてあたたかさをもって未来を描く

TENA製品全ての可能性を高めていくために「TENA ProSkin (テナ プロスキン) シリーズ」として

TENAパッド製品とTENAスキンケア製品を活用した組織的なケアの確立を目指します。

スキンヘルス=心地よい肌

TENAパッド製品とTENAスキンケア製品を活用した
「3STEP (スリーステップ) サイクル」

表面から水分を素早く吸収する
フィールドライアドバンスド™機能
パッド表面のさらさら感を保ちます

ステップ1
キープドライ

心地よい時間を増やすために



PROskin

ステップ3
キーププロテクト

そして優しく肌を守る



ステップ2
キープクリーン

すっきりときれいな肌へ



TENAバリアクリームは撥水効果があり
肌を優しく守ります

TENAウォッシュクリームは汚れを浮かせるふきとりクリーム
TENAウェットワイブは大判サイズ
どちらもデリケートな部分を清潔にしながら保湿・保護します

TENAパッド製品は、
心地よい時間を増やすために、
ステップ1キープドライを
目指します。



3×PROTECTION™ (トリプルプロテクション™)

「さらさら感×やわらかさ×モレへの安心感」



フィールドライ アドバンスド™機能

水分をパッドに素早く吸収ししっかりと閉じ込めることで逆戻りが少なく表面のさらさら感を保ちます



スキンヘルスアライアンス

スキンヘルスアライアンスとは国際的な皮膚科学認証機関です。成分の徹底的な評価、臨床試験、および有効性の証明など製品の研究や専門的な分析を行い認定が授与されます。このマークがある製品はスキンヘルスアライアンスの認証を獲得しています。製品ラインナップでの取得は、失禁ブランドではが世界初!

TENAパッド製品では、2020年に「TENAフレックス」が
2021年には「TENAスリップ」そして「TENAコンフォート」がTENA ProSkin シリーズになりました

TENAフレックス

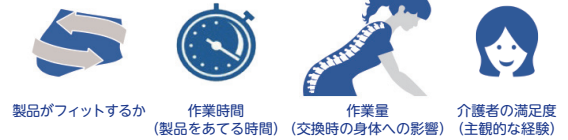
ベルトタイプで覆う面積も少なくすっきりした動きやすいデザイン

TENAフレックスは高いユーザビリティがあると検証されています。ご使用されるご本人はもちろんのこと、スタッフの方々などにとっても負担がより少ない製品となります。*1



- 全面通気性で肌にやさしいパッド
- さらさらとした着け心地で快適に
- 前後ともに同等の吸収力

ユーザビリティの調査項目



*1: The study was performed by RISE Research Institutes of Sweden in 2017. Essity: New Usability Study proves that product type matters.

TENAフレックスはTENAスリップと比較し、約43%*2覆う面積を削減
笑顔ある暮らしを想い快適性にこだわったデザイン

つけていることが気になりにくい
穏やかな時間をお届けしたい
やわらかく調節可能なコンフィ
ストレッチ™ベルトでご本人の
体型や動きに合わせてフィット

ご本人とスタッフの方々
ムリな姿勢はさせたくない
腰への思いやりを大切に、立位でも簡単に装
着可能。様々な体形に合わせて簡単に固定で
きるイージークリップフック付き

*2 Essity Data on File. Lab report 2018-Comparing Chassis TENA Flex and TENA Slip

TENAスリップ・TENAコンフォート

2021年リニューアル

TENA ProSkin シリーズの **3STEPサイクル**

ステップ1 キープドライの実現へ

「さらさら感」「柔らかさ」UP

フィールドライアドバンスド™機能・トリプルプロテクション™となり、パッドに素早く吸収ししっかりと閉じ込めることでよりさらさらで心地よく、またスキンヘルスアライアンスの認証を獲得しています



TENAスリップ

- やさしく包み込む安心感
締め付けることなく体型に
フィットするデザイン
- 重度の方もモレの防止力と快
適性を同時に実現。やわらか
い素材を使用し動きやすいの
に隙間ができにくくモレの防
止力を備えています



TENAコンフォート

- 下着のような履き心地で日常の動きにフィット
- お一人おひとり違うからこそ、ご本人の生
活に合わせてご使用頂ける5つの吸収ライ
ンナップ



新発売

TENAウェットウォッシュグローブ

毎日の暮らしに心地よいあたたかなひとときを

お一人おひとりの毎日の暮らしに心地よいあたたかなひとときをお届けしたい。
尊厳と快適を大切に、関わる全ての皆さまの“Well-being (ウェルビーイング)”を想い、
この度「TENAウェットウォッシュグローブ」を発売いたしました。

TENAウェットウォッシュグローブはグローブタイプの全身拭き取りクレンジングタオルで、
温めても使用して頂くことができ、準備や片付けもシンプルなスキンケア製品です。



2022年2月から交付金で給与引き上げへ

— 介護・保育9000円、看護4000円引き上げを軸に —

岸田文雄首相の目玉政策「新しい資本主義」の一環として、社会保障制度の支え手の給与引き上げを実施することが掲げられた。その実施のため、11月9日には「全世代型社会保障構築会議」（清家篤座長＝日本私立学校振興・共済事業団理事長／慶應義塾学事顧問）を開催。同日、賃金引上げについて専門に検討する「公的価格評価検討委員会」（増田寛也座長＝東京大学公共政策大学院客員教授）も設立・議論がされた。

岸田首相は席上で「各制度における公的価格の制度の比較、処遇改善につながる制度の見直し、処遇改善目標などを議論し、安定財源の確保と併せた道筋を考えていただき、年末までに中間整理を取りまとめていただきますようお願いを申し上げます」とあいさつした。

今後、2022年2月～10月までは、緊急的に交付金（税金が財源）で実施し、10月以降は介護や医療制度の中の処遇改善加算などで対応を目指すこととなる。

賃金引上げ幅については介護士・保育士は3%程度（月9000円）、看護師は1%程度（月4000円）で検討されている。看護師については財源確保の上、段階的に引き上げを予定しており最終的に3%程度の引き上げを目指す。

検討委員会では今後、給与引き上げにつながりやすい配分方法などについて議論をし、年内に取りまとめを行う。

10月以降の制度内対応のための検討では、働きやすい職場づくりや、業務効率を高める取り組みが要件とされることが想定され、単なる給与引き上げに留まらない、専門職のための恒久的な働き方改革につながることを期待される。

22年10月以降は各制度見直しで恒久化

給与の低さが指摘されることも多い介護職の処遇改善については、これまでの介護報酬上の加算設定により改善が

図られてきたが（表参照）、より高い処遇改善が見込める「特定処遇改善加算」の算定率は6割にも満たない状況（2020年6月・社会保障審議会介護給付費分科会資料）。

特に介護医療院は、看護師や作業療法士、理学療法士、栄養士など介護職以外の専門職種が多く、併設の病院との給与格差が広がることを嫌って算定率が低い。こうした算定しにくいとされる現行制度の見直しも議論される。

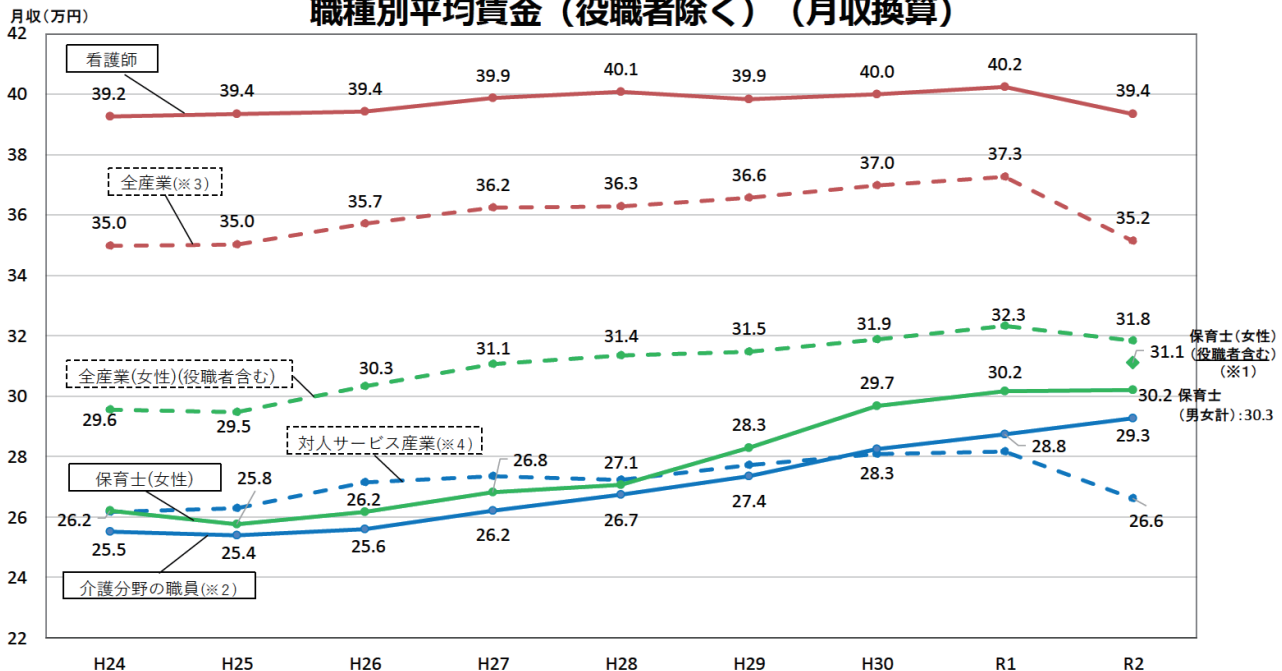
働きやすい職場づくりへの評価も期待

10月以降には、介護報酬などの仕組みでの処遇改善加算等として対応することが検討されるようになるが、加算額の引き上げに伴って、要件の見直しが見られることが想定される。

特に介護では21年改定で、排せつや褥瘡、リハビリに関する成果「アウトカム」を加算評価する動きが明確になった。

多職種連携による排せつや褥瘡、リハビリへのアウトカム評価は、そこに関わる各専門職への励みになる。さらに処遇改善加算の要件として、更なる働きやすい職場づくりが議論されることで、単なる「賃金引上げ」ととどまらない、モチベーションややりがい向上につながるものとして大いに期待される。（シルバー産業新聞編集 2021年12月）

職種別平均賃金（役職者除く）（月収換算）



（出典）厚生労働省「賃金構造基本統計調査」（平成24年から令和2年までの各年で公表されたもの）を基に作成。いずれも一般労働者（短時間労働者を含まないもの）。

アンケート

この度、「リーエンダ with TENA」をご覧いただき、誠にありがとうございます。皆さまからのご意見・ご感想を大切により充実した「リーエンダ with TENA」をお届けしていきたいと考えております。是非、忌憚なきご意見をお寄せください。



本アンケートはご回答頂いた方の個人情報（個人名・メールアドレス等）を記載して頂く項目はございません。また、個人の携帯端末からのアクセスであっても個人を特定する情報は収集いたしません。何卒よろしくお願いたします。

「リーエンダ with TENA vol.8」
2022年3月末日まで